

消防団 × 市議会



上野 透 団長



富山 英幸 副団長



横田 知征 副団長

「市民のみなさんとの座談会」第2回目となる今回は、各自の仕事をしながら、火事・災害などの現場へいち早く駆けつけ、私達の生命・身体・財産を守る活動を続けていただいている、『真岡市消防団』を代表して上野団長、富山副団長、横田副団長にお越しいただきました。

自分たちの地域は、自分たちで守る！

最近の火災の状況は？

- ◆今年度は、これまでに5件の火災が発生しています。発生件数は、昨年の同時期と比べて変わりありません。
- ◆これから冬場に向かって、火災が発生しやすい時期を迎えますので、市民のみなさんには十分注意をしていただきたいと思います。

普段の消防団は、どのような活動をしていますか？

- ◆火災発生時の消火活動はもちろん、毎月1回（第

1火曜日）の防火に関する啓発活動を行っています。

- ◆消火活動をスムーズに行えるよう、毎月1回ポンプ車の水出し点検と車両点検を行っています。また、年に数回、防火水槽や消火栓の点検も行っていきます。
- ◆コロナ禍の影響で、集まる機会が制限されているため、活動に支障が出ないように指揮命令システムを今まで以上に強化しました。

災害発生時も活躍されていますよね？

- ◆最近では、2年前の台風19号の時に、避難支援



活動や危険個所の巡回を行いました。また、避難指示が発令されたため、土砂災害警戒区域内の1軒1軒を廻って安否確認を行いました。

- ◆台風19号の時、真岡市は被害が少なく済みましたが、河川の越水^{えっすい}や溢水^{いっすい}などの発生が予想される場合は、土のう積みなどの活動も行います。
- ◆消防団員は、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という強い使命感や責任感で活動しています。

消防団員になって良かったことは？

- ◆世代や仕事異なる人たちと知り合えて、様々な情報交換ができ、自分の生き方にもプラスになっていることです。
- ◆訓練の一環として開催されている操法大会は、練習や準備は大変ですが、団員同士の絆が深まり、一つの目標に向かって頑張った感動を味わうことができます。
- ◆コロナ禍で今は実施できていませんが、年1回行われる研修旅行も楽しみの一つです。

市民のみなさんに伝えたいことはありますか？

- ◆災害発生直後は、消防団が市民一人一人に対応することは難しいので、自分を守る「自助」いつも隣り合わせの近所の人々が助け合う「共助」が大切だと思います。
- ◆防災・減災に重要な役割を担っている消防団ですが、団員の確保が厳しい状況にあります。若い世代の方にもやりがいと楽しさを分かっていたいただくとありがたいです。

消防団員を募集中です！

消防団員になって、自分たちの地域を自分たちで守りませんか？

お問い合わせ先
くらし安全課 危機管理係
電話番号：83-8396

